

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

新サーキットライダー 2012年1、2月号



ミラノ大聖堂、2012年2月15日撮影

United Methodist Church - Japanese American Ministry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor : Rev. Dr. Jun Yoshimatsu 牧師 : 吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

形骸化したキリスト教行事

ああ主は誰（た）がため

1. ああ主は誰がため世に下りて、
かくまで悩みをうけたまえる。
2. わがため十字架になやみたもう、
こよなきみ恵み、はかりがたし。

(讚美歌 21、298番)

昨年、長年通い続けた学校を卒業し、晴れてアカデミックから解放され、月前半に10日（実質8日）ほど長年行きたいと思っていたイタリアに泉と行って来ました。ローマ、フィレンツェ、ベニス、ミラノと周りまわりました。



バチカンの聖ペテロ教会前広場にて

ローマではバチカン礼拝堂、バチカン美術館で長年夢に見た、ミケランジェロのピエタ、シスターナ礼拝堂の天地創造、最後の審判などを見たり、ペテロやパウロを含む多くのクリスチャンが殉教した「剣闘士」で有名なコロッセオ、パンテオン教会、フォロ・ロマーノを見ました。フィレンツェではウフィツ美術館で多くの芸術家の作品を堪能し、ドウオモ（ドーム）でジョットの塔を見て、アカデミー美術館でミケランジェロのダビデ像（オリジナル）を見たり、ドミニコ派修道会がそのまま美術館になっているサンマルコ教会でフラ・アンジェリコの作品を堪能。ベニスでは市庁舎、アカデミー美術館でテツイアーノ、ティトレント、ペロネーズという、後期ルネッサンス・ベニス派の3代巨匠の作品群を見たり、ゴンドラでカンツオーネを聞き、ミラノでは本当に見たいと願っていたダ・ビンチの「最後の晩餐」を見ることができました。

私が美大時代に学んだのはどちらかというと現代絵画、彫刻ですが、神学校に学び、牧師になり、宗教と美術を曲がりなりにも専攻し、教える立場となった今、中世のキリスト教美術、イタリア・ルネッサンスは“Must See Them”見なくてはならないものでした。その夢が適ったのですから、今年は最高のスタートを切ったわけです。神と皆様に感謝いたします。

さて、しかしながら旅が必ずしも全部感動ばかりかということ、やはり考えさせられることもありました。ベニスでは受難節に入る、数週間くらい前からカーニバルをするという伝統が中世からあり、私たちは丁度、その真っ最中に行ってしまいました。おかげでベニスはごった返し、観光客（私たちもそうですが・・・）大変でした。

ベニスでお世話になった観光ガイドさん（ベニス生まれのベニス育ち、大学で日本語を学び、日本にも2年ほど住んだ方）が嘆きながら言っていました、「ベニスでマスクを被り、派手な衣装を着ている殆どが、生粋のベニスっ子ではなく、外国人、観光客です。とくにお祭り好きのフランス人が来ています。」とっていました。またそこには多くの日本人観光客（私たちもですが・・・）がいて、マスクを買って付いたり、衣装を買ったりして、はしゃいでいました。



サンマルコ広場、カーニバルの風景

本来、カーニバル＝謝肉祭（語源は肉食を取り去る、と言う意味）でレント（受難節）で肉やお酒を断つ前に、飲んで食べて騒げというキリスト教庶民（貴族も）のお祭りでした。ブラジルの有名なりオのカーニバルもレントの前にや

るのはその為です。しかしながら、そのようなキリスト教的意義は薄れ、今は単なるお祭りとなりつつあります。特に日本人の多くが表面的なところばかりしか見ることをせず、本来の意味、大切な宗教心を骨抜きにしていることを改めて感じました。

以前コロンビア大学で東アジア：日本、中国、韓国の歴史の授業を取った時に、日本の文化が **Borrowing and Adaptation** であると、いまだに言われていることを書きましたが、改めて形ばかりで中味の伴わない文化、宗教、流行輸入の軽薄さを感じました。クリスマス、バレンタイン・デー、ハロウィンのトリックオアトリート、そしてこのカーニバル。形骸化した何の意味も無い行事になってしまった良い（悪しき）例です。

現代でもカトリックの信者の多くが受難節ではキリストの苦難、十字架を思い、自分の好きなものを断ち、少しでも耐えることを学ぶという習慣があり、肉を食べなかつたり、ワインを断つたり、チョコレートやケーキなどを控えたり、週に1、2度断食したりしています。

イタリアの話に戻りますが、ダ・ビンチ、ミケランジェロが活躍したことで有名なフィレンツェという地方都市があります。フィレンツェはウフィツィ美術館という中世とルネッサンスの絵画を集めた有名な美術館がありますが、その他にも、ミケランジェロのオリジナル・ダビデ像が展示してあるアカデミー美術館や、元ドミニコ派修道会がそのまま教会と美術館になっているサン・マルコ教会美術館があります。

このサン・マルコ美術館は修道院そのまま美術館となったもので、かつて修道士が暮らしていた部屋がそのまま保存されていて、中世、ルネッサンスの修道士の生活の場が見ることができます。美術館の二階に修道士の部屋があるのですが、その一つ一つに初期ルネッサンスの巨匠、フラ・アンジェリコのプロスコ画が描かれています。

階段を登ると目の前にフラ・アンジェリコの受胎告知（I）が描かれています。しかし、ほとんどの修道士の部屋には「十字架のイエス」（II）が描かれています。修道士達は、自分の小さな部屋で寝起きするたびに、また日々の

生活の中でその十字架のイエスを見ながら聖書を学び、研磨し暮らしていたのでしょ。う。そう思うと、とても感慨深い物がありました。



I. 「受胎告知」 1437-1446



II. 「十字架のイエス」 1437-1446

メソジストを初めプロテスタントではカトリックのように何かを断つ、我慢するというような風習はあまり行われていませんが、この時期、改めてキリストの十字架を偲び、誰の為、主が十字架に架かったのか再度考えてみてはいかがでしょうか。

吉松 純

礼拝予定：

- 3月
4日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、レントについてまなぶ。ハンドベル。
11日
 ニューヨーク、ワシントン・スクエアにて午後2時半より3・11、仏教会、神道と合同で東北地震追悼式。吉松牧師も式に参加の為、通常の礼拝はお休みです。詳細は別紙参照。
18日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、3・11から1年経って。ハンドベル。
25日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、春の恵を探す。春のクッキング。ハンドベル。
4月
1日
 聖書の学び、聖餐礼拝、Jr.教会、棕櫚の聖日について学ぶ。棕櫚で工作。ハンドベル。
8日
 聖書の学び、復活祭礼拝、ハンドベル演奏。Jr.教会、復活祭の卵作り。礼拝後、持ち寄りで祝会。
15日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、切手仕分け
22日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、切手仕分け、日本へ送付準備
29日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、未定
5月
6日 聖書の学び、聖餐式礼拝、Jr.教会
13日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会

感謝：

*去る2月12日から17日まで松尾光さんと平田寛佳さんが日本基督教団、東北教区の災害支援センター、エマオでボランティアをしました。二人の貴い奉仕に感謝します。

予定：

*レントの期間中、毎週金曜日午後7時からパンとスープの夕食と聖書の学び「十字架の七言」（英語）があります。どなたも歓迎いたします。レントの期間中週に一度質素な夕食を頂き英語で聖書を学びませんか。

*4月5日（木）午後7時、最後の晩餐の寸劇による礼拝（英語）。

*4月6日（金）午後7時、聖金曜日 Good Friday Tanabrae

Service ロウソク消灯礼拝があります。どうぞ主の十字架を偲びお過ごし下さい。

*4月8日（日）。朝6時30分より、エキユメニカル復活祭早朝礼拝。Cooper's Pondにて。

*4月8日（日）午後3時、復活祭礼拝。礼拝後、牧師館にて持ち寄りで祝会。

*サマーキャンプの案内を同封します。皆さんのお子さんやご近所の知り合いにお勧め下さい。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先は **UMC-**

JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

*自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、
*来年2012年に開かれる第4回東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為

*ハーベスト・タイムのミッションの為

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリト

教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為に特別献金をしています。

*パターソンの社会福祉団体CUMAC/ECHO の為に。CUMACは合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

[English Website: www.cgs-umc.org](http://www.cgs-umc.org)

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 jun.yoshimatsu@gmail.com

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com